

教育研究業績書

2018年05月14日

所属：日本語日本文学科

資格：教授

氏名：柴田 清継

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 研究分野 | 研究内容のキーワード |
| 東アジア文化交渉史 | 漢字文化圏 |
| 学位 | 最終学歴 |
| 文学修士 | 広島大学大学院 文学研究科 中国哲学専攻 博士前期課程 修了 |

| 教育上の能力に関する事項 | | |
|---|----------|----|
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | | |
| | | |
| 2 作成した教科書、教材 | | |
| 1. 中国語初級教科書の作成→王霜媚・柴田清継・平坂仁志・市成直子・陳建平著『初級中国語課本』（好文出版）として出版。全82P | 2004年04月 | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| | | |
| 4 その他 | | |
| | | |

| 職務上の実績に関する事項 | | |
|------------------------------|-----|----|
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 資格、免許 | | |
| | | |
| 2 特許等 | | |
| | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| | | |
| 4 その他 | | |
| | | |

| 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--------------------------------------|---------|------------|-------------------|---|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
| 1 著書 | | | | |
| 1. 三言選訳（下） | 単 | 2008年3月 | 翠書房 | 豊福健二、王順洪 中国語中級用のテキストで、中国旅行に役立つ会話と、中国に関する知識が平行して学べるように意図して編集したもの。 豊福健二、王順洪 大学などにおいて中国語をはじめて学ぶ人たちを対象に作成したテキスト。「発音編」「常用あいさつ語一覧」等を巻頭に配し、次に第一課から第二十課までは、会話文、文法の説明、練習問題を置いた。 |
| 2. 三言選訳（中） | 単 | 2007年3月 | 翠書房 | |
| 3. 三言選訳（上） | 単 | 2006年3月 | 翠書房 | |
| 4. 初級中国語課本 | 共 | 2004年4月 | 好文出版 | |
| 5. 中級漢語－旅行会話と中国知識－ | 共 | 1994年04月 | 駿河台出版社 | |
| 6. 初級漢語教本 | 共 | 1994年02月 | 白帝社 | |
| 7. 母校留念 | 共 | 1991年4月 | 駿河台出版社 | |
| 8. 燕山夜話抄（講読シリーズ3） | 単 | 1986年12月 | 東方書店 | |
| 2 学位論文 | | | | |
| | | | | |
| 3 学術論文 | | | | |
| 1. 函館における王治本の詩文交流 | 単 | 2018年3月13日 | 武庫川国文第84号 | 35-43頁 |
| 2. 明治期の漢詩文作者三浦一竿の人格一主として王治本との交友からの考察 | 単 | 2018年3月13日 | 武庫川国文第84号 | 45-58頁 |
| 3. 岡鹿門『観光紀游』訳注——その五 | 単 | 2018年2月20日 | 日本語日本文学論叢第13号 | 119-152頁 |
| 4. 王治本 明治三十八年秋冬 越中・加賀・越前等における詩文交流 | 単 | 2018年2月20日 | 日本語日本文学論叢第13号 | 77-117頁 |
| 5. 巖谷一六と清国文人王治本・陳雨農との交遊 | 単 | 2017年8月27日 | 書論第43号 | p. 71-80 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|---|-------------|---------------|---------------------------|------------|
| 3 学術論文 | | | | |
| 6. 王治本 明治十五、六年の北陸漫遊と詩文交流—加賀・越中・能登・越前 | 単 | 2017年3月10 | 日本語日本文学論叢第12号 | 57—84頁 |
| 7. 明治三十九年 王治本の 尾張・伊勢・越前・三河における足跡と文藝交流（下） | 単 | 2017年2月28日 | 武庫川国文第82号 | 25—46頁 |
| 8. 王治本 明治三十八年秋 金沢における詩文交流 | 単 | 2017年10月25日 | 武庫川国文第83号 | p. 25-41 |
| 9. 中国古典解釈における日中間の異同—高等学校国語教材を対象として— | 単 | 2016年3月31日 | 武庫川女子大学言語文化研究所年報第26号 | 45—62頁 |
| 10. 明治十五年 王治本の旅と詩文交流—旅立ちから東海道を経て越前滞在まで— | 単 | 2016年3月10日 | 武庫川国文第80号 | 21—36頁 |
| 11. 岡鹿門『観光紀游』訳注—その四 | 共 | 2016年2月26日 | 日本語日本文学論叢第11号 | 67-113頁 |
| 12. 明治二十六年 王治本の陸前・羽前等における足跡と文藝交流（下） | 単 | 2016年2月26日 | 日本語日本文学論叢第11号 | 33-66頁 |
| 13. 明治三十九年 王治本の 尾張・伊勢・越前・三河における足跡と文藝交流（上） | 単 | 2016年10月27日 | 武庫川国文第81号 | p. 31-50 |
| 14. 岡鹿門『観光紀游』訳注—その三一 | 共 | 2015年3月5日 | 日本語日本文学論叢第10号 | p. 103-151 |
| 15. 明治二十六年 王治本の陸前・羽前等における足跡と文藝交流（上） | 単 | 2015年3月5日 | 日本語日本文学論叢第10号 | p. 49-101 |
| 16. 明治壬辰 王治本の陸中・陸奥における詩文交流 | 単 | 2015年11月30日 | 武庫川国文第79号 | 42—52頁 |
| 17. 点描 小山松溪の生涯—主として漢文学の視点から | 単 | 2015年11月15日 | 『新潟県文人研究』第18号 | 174—192頁 |
| 18. 岡鹿門『観光紀游』訳注—その二 | 共 | 2014年3月 | 日本語日本文学論叢第9号 | |
| 19. 王治本 越佐の旅およびその間の詩文交流—追補 | 単 | 2014年11月16日 | 新潟県文人研究第17号 | p. 6-15 |
| 20. 平安時代国際交流の一齣—菅原道真・島田忠臣と渤海使裴？との贈答詩を読む | 単 | 2014年11月1日 | 武庫川国文第78号 | p. 23-30 |
| 21. 王治本の周防訪問および地元文人との文藝交流 | 単 | 2013年3月 | 武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第60巻 | |
| 22. 明治二十年前半における王治本の足跡と詩文交流—九州北部、小豆島— | 単 | 2013年3月 | 日本語日本文学論叢第8号 | |
| 23. 岡鹿門『観光紀游』訳注—その一 | 共 | 2013年3月 | 日本語日本文学論叢第8号 | |
| 24. 松崎鶴雄著作・作品目録 | 単 | 2013年12月 | 近現代東北アジア地域史研究会ニューズレター第25号 | |
| 25. 明治二十五年 羽後における王治本の足跡及び日本文人との交流 | 単 | 2013年11月 | 武庫川国文第77号 | |
| 26. 黄炎培と朝鮮—その著『朝鮮』を中心として— | 単 | 2012年3月 | 武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第59巻 | |
| 27. 明治期高知における日中文人の交流—旅の詩人王治本を中心として— | 共 | 2012年3月 | 日本語日本文学論叢第7号 | |
| 28. 明治期滞日清国人王治本と地方の漢詩人たち—新潟の事例を中心に— | 単 | 2012年3月 | 東アジア日本語教育・日本文化研究第15輯 | |
| 29. 王治本の藝備訪問および地元文人との文藝交流 | 単 | 2012年11月 | 武庫川国文第76号 | |
| 30. 王治本 越佐の旅およびその間の詩文交流—明治十六、七年を中心として— | 単 | 2012年11月 | 新潟県文人研究第15号 | |
| 31. 明治前期神戸の華僑華人—漢詩文集・新聞・遊記等を主な資料として— | 単 | 2011年8月 | 通説（神戸華僑華人研究会）第64号 | |
| 32. 水越耕南と清国外交官との文藝交流—1880年代を中心として— | 共 | 2011年3月 | 武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第58巻 | |
| 33. 漢学者松崎鶴雄 その民国文人との文化交流—大連在任期を中心に | 単 | 2011年3月 | 『日本語日本文学論叢』第6号 | |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|--|-------------|---------------|--|--|
| 3 学術論文 | | | | |
| 34. 明治期高知における日中文人の交流—画家胡鉄梅を中心として— | 共 | 2011年11月 | 武庫川国文第75号 | |
| 35. 水越耕南と『萍水相逢』—併せて萍水吟社について— | 共 | 2010年3月 | 武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第57巻 | |
| 36. 水越耕南と清国文人との文藝交流—清国駐神戸理事府初代、第二代の外交官を中心として— | 共 | 2010年3月 | 日本語日本文学論叢第5号 | |
| 37. 日本占領期の韓国社会に対する同時代中国人の観察と思索—魏建功の在韓体験を例として— | 単 | 2010年11月 | ??間SAI (国際韓国文学文化学会) 第9号 | |
| 38. 鄭孝胥と神戸、関西の文人たちとの文藝交流 | 共 | 2010年11月 | 武庫川国文第74号 | |
| 39. 漢詩人水越耕南 (一八四九～一九三三) 研究序説—その生涯と著作— | 共 | 2009年3月 | 武庫川国文第72号 | |
| 40. 水越耕南の初期の作品とその漢詩文ネットワーク—『開口新詞』と『薇山摘葩』をめぐって— | 共 | 2009年10月 | 武庫川国文第73号 | |
| 41. 従日本古典文学看徐福—絶海中津《応制賦三山》詩和五山文学 | 単 | 2008年9月 | 蘇州市徐福研究会徐福東渡国際学術交流会論文集 | p. 30-33 |
| 42. 徐福日本渡来説と東アジアの民族意識 | 単 | 2008年8月 | 崔博光主編『東北亜近代文化交流関係研究』(中国・山東大学出版社) 所収 | |
| 43. 松崎鶴雄 (1867-1949) と中国—あるテレビ番組をめぐって— | 単 | 2008年11月 | 武庫川女子大学関西文化研究センター編『日本と中国の基本的人間文化—その普遍と個別—』所収 | |
| 44. 松崎鶴雄と中国の碩学たち | 単 | 2008年11月 | 武庫川女子大学関西文化研究センター編『東アジアにおける文化交流の諸相』所収 | |
| 45. 西島函南 | 単 | 2007年9月 | 孫文研究第42号 | |
| 46. 日本人は如何理解徐福東渡之説的 | 単 | 2007年2月 | 『徐福文化研究』(中国国際徐福文化交流協会) 2007 (総第15期)、後に楊丙田主編、秦皇島碣石暨徐福研究会編『碣石・東渡・秦皇島』(2008年5月)に転載。 | |
| 47. 三神山在日東説と韓国の文人 | 単 | 2006年9月 | 武庫川女子大学関西文化研究センター編『人間文化の諸相と東アジア—異文化とは何か—(関西文化研究叢書4)』所収 | |
| 48. 『日華新報』中文記事訓注—第871号— | 単 | 2006年3月 | 武庫川女子大学関西文化研究センター編『関西文化の諸相』所収 | |
| 49. 『警世通言』巻二十四「玉堂春落難逢夫」訳注 | 単 | 2005年1月 | 『鳴尾説林』第12号 | |
| 50. 神戸発行『日華新報』の基礎的考察 | 単 | 2004年12月 | 『MKCRニューズレター』第2号 | |
| 51. 徐福伝説在日本—從古代到16世紀 | 単 | 2004年02月 | ?君・陳多友主編 中日比較文学比較文化研究(中山大學出版社) | 日中両国の関係資料の精査により、日本における徐福日本渡来伝説の発生から富士・熊野・熱田即三神山説の誕生・定着までの軌跡を導き出した。全 (pp. 9) |
| 52. 『警世通言』巻二十一「趙太祖千里送京娘」訳注 | 単 | 2003年12月 | 鳴尾説林 11号 | 馮夢竜の短編小説集『警世通言』所収の「趙太祖千里送京娘」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 20) |
| 53. 中国名詞選訂補其十二 | 単 | 2003年11月 | 武庫川国文 62号 | 明治書院発行の新釈漢文大系『中国名詞選』の訓読・解釈等の誤りを指摘し、訂正した。全 (pp. 8) |
| 54. 伝説上の海島と日本—徐福日本渡来伝説の起源を探るために | 単 | 2003年08月 | 和漢比較文学会・中日比較文学会編 新世紀の日中文学関係—その回顧と展望 (勉誠出版) | 唐代までの中国人の観念における伝説上の海島と日本との関係を考察し、もって日中両国における徐福日本渡来伝説の起源を探るための一助とした。全 (p. 15) |
| 55. 鴻臚贈答詩読解についての私見 | 単 | 2003年03月 | 武庫川女子大学紀要人文・社会科学編 50巻 | 菅原道真が渤海使と唱和した「鴻臚贈答詩」の読解について私見を提示した。全 (pp. 9) |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|--|-------------|---------------|-------------------------------------|--|
| 3 学術論文 | | | | |
| 56. 中国名詞選訂補其十一 | 単 | 2003年03月 | 武庫川国文 61号 | 明治書院発行の新訳漢文大系に収められている『中国名詞選』の誤りを指摘し、訂正した。全 (pp. 9) |
| 57. 關於辛棄疾〈水調歌頭・盟?〉解 釈的幾個問題 | 単 | 2003年01月 | 周云竜主編『詞曲研究 的新拓展』(高等教育 出版社)第1版 | 宋の辛棄疾の詞「水調歌頭」(盟?)についての中国 の諸学者の解釈を比較検討し、その正解を追求した 。全 (pp. 5) |
| 58. 菅原道真寛平七年対渤海使唱和詩 読解についての私見 | 単 | 2003年01月 | 鳴尾説林 10号 | 菅原道真が寛平七年に渤海使と唱和した漢詩の読解 について私見を提示した。全 (pp. 8) |
| 59. 『警世通言』卷十五「金令史美婢 酬秀童」訳注 | 単 | 2003年01月 | 鳴尾説林 10号 | 明の馮夢竜の白話小説「金令史美婢酬秀童」に詳細 な訳注を施した。全 (pp. 23) |
| 60. 中国名詞選訂補其十 | 単 | 2002年11月 | 武庫川国文 60号 | 明治書院発行の新訳漢文大系に収められている『中国 名詞選』の誤りを指摘し、訂正した。全 (pp. 8) |
| 61. 『警世通言』卷三十七「万秀娘仇 報山亭児」訳注 | 単 | 2002年11月 | 火鍋子 57号 | 明の馮夢竜の白話小説「万秀娘仇報山亭児」に詳細 な訳注を施した。全 (pp. 12) |
| 62. 西島函南と孫文・神戸華僑 | 単 | 2002年10月 | 通説(神戸華僑華人研 究会) 45号 | 西島良爾、号は函南と孫文・神戸華僑との関わりに ついて考察した。全 (pp. 3) |
| 63. 『警世通言』卷三十六「[■]角林 大王仮形」訳注 | 単 | 2002年07月 | 火鍋子 56号 | 明の馮夢竜の白話小説「[■]角林大王仮形」に詳細 な訳注を施した。全 (pp. 10) |
| 64. 西島良爾神戸在住期の対中国活動 —『日華新報』の初歩的考察を 兼ねて | 単 | 2002年07月 | 孫文研究 32号 | 西島良爾の神戸在住期の対中国活動について、主と して彼がその編集に当たった『日華新報』の内容と 関連させて、考察した。全 (pp. 27) |
| 65. 柳永故事雑考 | 単 | 2002年07月 | 劉慶雲主編『柳永新論 』(海峡文芸出版社) 第1版 | 北宋の文学者柳永の人物像を探究するための作業の 一環として、彼が宋・元・明・清のどのような小説 や戯曲の登場人物となっているかを調査し、かつそ れらの作品に見られる彼の人物像について考究した 。全 (pp. 19) |
| 66. 西島良爾 —中国語とともに生き た明治人 | 単 | 2002年04月 | 関西黎明期の群像 第 二 (和泉書院) | 明治から大正にかけて大阪と神戸で中国語の教育や 対中国の種々の活動に従事した西島良爾の一生を、 多くの史料にもとづいて再構成した。全 (pp. 36) |
| 67. 『警世通言』卷三十五「況太守断 死孩児」訳注 | 単 | 2002年04月 | 火鍋子 55号 | 明代の馮夢竜の短篇小説「況太守断死孩児」に詳細 な訳注を施した。全 (pp. 13) |
| 68. 小説戯曲における柳永の人物像 | 単 | 2002年03月 | 武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編 49 巻 | 宋代の詞人柳永は宋以後の数種の小説や戯曲の中に 主役または脇役として登場している。それらの中 での柳永の描かれ方を検討することによって、当時 の中国人が彼をどのような人物としてとらえてきた か探究した。全 (pp. 9) |
| 69. 中国名詞選訂補其九 | 単 | 2002年03月 | 武庫川国文 59号 | 明治書院新訳漢文大系中の『中国名詞選』の誤りを 訂正し、不足を補った。全 (pp. 9) |
| 70. 『警世通言』卷三十一「趙春児重 旺曹家莊」訳注 | 単 | 2001年12月 | 火鍋子 54号 | 明の馮夢竜の短篇小説「趙春児重旺曹家莊」に詳 細な訳注を施した。全 (pp. 11) |
| 71. 『古今小説』卷三十七「梁武亭累 修婦極楽」訳注 | 単 | 2001年11月 | 鳴尾説林 9号 | 明代の馮夢竜の短篇小説「梁武亭累修婦極楽」に詳 細な訳注を施した。全 (pp. 22) |
| 72. 『警世通言』卷三十「金明池吳清 逢愛愛」訳注 | 単 | 2001年09月 | 火鍋子 53号 | 明代の馮夢竜の短篇小説「金明池吳清逢愛愛」に詳 細な訳注を施した。全 (pp. 12) |
| 73. 中国名詞選訂補其八 | 単 | 2001年09月 | 武庫川国文 58号 | 明治書院新訳漢文大系中の『中国名詞選』の誤りを 訂正し、不足を補った。全 (pp. 10) |
| 74. 『警世通言』卷二十九「宿香亭張 浩遇鶯鶯」訳注 | 単 | 2001年06月 | 火鍋子 52号 | 明代の馮夢竜の短篇小説「宿香亭張浩遇鶯鶯」に詳 細な訳注を施した。全 (pp. 10) |
| 75. 在阪時の西島良爾とその中国語教 育活動 | 単 | 2001年04月 | 一海・太田両教授退休 記念 中國學論集(翠 書房) | 明治から大正にかけての中国語教育者である西島 良爾の大阪在住時の足跡を調査し、論述した。全 (p p. 19) |
| 76. 中国名詞選訂補其七 | 単 | 2001年03月 | 武庫川国文 57号 | 明治書院新訳漢文大系『中国名詞選』の解釈等の 誤りを指摘し、その真正なる解釈を追求した。全 (p p. 10) |
| 77. 『警世通言』卷二十七「仮神仙大 鬧華光廟」訳注 | 単 | 2001年01月 | 火鍋子 51号 | 明の馮夢竜の短篇小説である「仮神仙大鬧華光廟 」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 8) |
| 78. 『懷風藻』読解覚書(二) | 単 | 2000年12月 | 武庫川国文 56号 | 従来岩波書店日本古典文学大系『懷風藻』(小島 憲之著)等によって継承されてきた『懷風藻』読解 の一部に疑義を呈し、より正確な読解を追求した。 全 (pp. 16) |
| 79. 『古今小説』卷三十六「宋四公大 鬧禁魂張」訳注 | 単 | 2000年11月 | 鳴尾説林 8号 | 明の馮夢竜の短篇小説である「宋四公大鬧禁魂張 」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 24) |
| 80. 『警世通言』卷二十三「楽小舎[■]生覓偶」訳注 | 単 | 2000年09月 | 火鍋子 50号 | 明の馮夢竜の短篇小説である「楽小舎[■]生覓偶 」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 7) |
| 81. 『二刻拍案驚奇』第二十四「菴内 看悪鬼善神 井中談前因後果」訳 注 | 単 | 2000年07月 | 火鍋子 49号 | 明の凌蒙初の白話短篇小説である「菴内看悪鬼善 神 井中談前因後果」に詳細な訳注を施した。全 (P P. 14) |
| 82. 『二刻拍案驚奇』卷六「李將軍錯 認舅 劉氏女詭従夫」訳注 | 単 | 2000年04月 | 火鍋子(翠書房) 48 号 | 明代の凌蒙初の白話短篇小説「李將軍錯認舅 劉氏 女詭従夫」に詳細な訳注を施したもの。全 (pp. 16) |
| 83. 中国名詞選訂補其六 | 単 | 2000年03月 | 武庫川国文 55号 | 明治書院新訳漢文大系『中国名詞選』の読解の誤り を正した。全 (pp. 9) |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|-----------------------------|-------------|---------------|---------------------------|--|
| 3 学術論文 | | | | |
| 84. 『警世通言』巻十九「崔衙内白鶴招妖」訳注 | 単 | 2000年02月 | 火鍋子（翠書房） 47号 | 明代の馮夢竜の白話短篇小説「崔衙内白鶴招妖」に詳細な訳注を施したもの。全（pp. 13） |
| 85. 徐福東渡日本伝説与韓国文人 | 単 | 2000年 | 国際中国学研究（韓国中国学会）第3輯 | |
| 86. 『古今小説』巻三十一「闇陰司司馬貌断獄」訳注 | 単 | 1999年3月 | 『火鍋子』第42号 | |
| 87. 『古今小説』巻二十二「木綿菴鄭虎臣報冤」訳注 | 単 | 1999年12月 | 鳴尾説林 7号 | 明代の馮夢竜の白話短篇小説「木綿菴鄭虎臣報冤」に詳細な訳注を施したもの。全（pp. 32） |
| 88. 『懷風藻』所載釈辨証の詩二首の解釈 | 単 | 1999年11月 | 武庫川女子大学文学部五十周年記念論文集（和泉書院） | 『懷風藻』所載の釈辨証の詩二首に対する従来の解釈の誤りを指摘し、その正しい解釈を追求した。全（pp. 13） |
| 89. 『警世通言』巻十三「三現身包竜図断冤」訳注 | 単 | 1999年11月 | 火鍋子（翠書房） 46号 | 明代の馮夢竜の白話短篇小説「三現身包竜図断冤」に詳細な訳注を施したもの。全（pp. 13） |
| 90. 『古今小説』巻二十九「月明和尚度柳翠」訳注 | 単 | 1999年1月 | 『火鍋子』第41号 | |
| 91. 『古今小説』巻三十八「任孝子烈性為神」訳注 | 単 | 1999年09月 | 火鍋子（翠書房） 45号 | 明代の馮夢竜の白話短篇小説「任孝子烈性為神」に詳細な訳注を施したもの。全（pp. 14） |
| 92. 中国名詞選訂補其五 | 単 | 1999年09月 | 武庫川国文 54号 | 明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解の誤りを正した。全（pp. 10） |
| 93. 徐福日本渡来説と朝鮮の文人 | 単 | 1999年08月 | 岡村貞雄博士古稀記念中国学論集（白帝社） | 朝鮮の漢文文献を渉猟することにより、徐福日本渡来説に対する歴代朝鮮人の見解を追跡した。全（pp. 29） |
| 94. 『古今小説』巻三十三「張古老種瓜娶文女」訳注 | 単 | 1999年07月 | 火鍋子（翠書房） 44号 | 明代の馮夢竜の白話短篇小説「張古老種瓜娶文女」に詳細な訳注を施したもの。全（pp. 14） |
| 95. 『古今小説』巻三十二「遊●都胡母迪吟詩」訳注 | 単 | 1999年05月 | 火鍋子（翠書房） 43号 | 明代の馮夢竜の白話短篇小説「遊●都胡母迪吟詩」に詳細な訳注を施したもの。全（pp. 12） |
| 96. 中国名詞選訂補其四 | 単 | 1999年03月 | 武庫川国文 53号 | 明治書院刊『中国名詞選』（新釈漢文大系）の読解の誤りを指摘し、その正しい解釈を追求した。全（p. 9） |
| 97. 『古今小説』巻二十六「沈小官一鳥害七命」訳注 | 単 | 1998年9月 | 『火鍋子』第39号 | |
| 98. 『古今小説』巻二十五「晏平仲二桃殺三士」訳注 | 単 | 1998年7月 | 『火鍋子』第38号 | |
| 99. 『古今小説』巻十九「楊謙之客舫遇俠僧」訳注 | 単 | 1998年5月 | 『火鍋子』第37号 | |
| 100. 『古今小説』巻二十一「臨安錢婆留発跡」訳注 | 単 | 1998年11月 | 『鳴尾説林』第6号 | |
| 101. 『古今小説』巻二十八「李秀卿義結黄貞女」訳注 | 単 | 1998年11月 | 『火鍋子』第40号 | |
| 102. 中国名詞選訂補其三 | 単 | 1998年09月 | 武庫川国文 52号 | 明治書院刊『中国名詞選』（新釈漢文大系）の読解の誤りを指摘し、その正しい解釈を追求した。全（p. 9） |
| 103. 『懷風藻』読解覚書（一） | 単 | 1998年06月 | 歌姫 14号 | 奈良時代の漢詩集『懷風藻』所載の漢詩についての従来の読解の誤りを正し、新たな解釈を打ち出した。全（pp. 6） |
| 104. 中国名詞選訂補其二 | 単 | 1998年03月 | 武庫川国文51号 | 明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解上の誤りを訂正し、読解上有益な事項を補足したものである。和疑の「麦秀兩岐」より李[■]の「攤破浣沙」まで。全（pp. 16） |
| 105. 『古今小説』巻十七「単符郎全州佳偶」訳注 | 単 | 1998年03月 | 火鍋子（翠書房） 36号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「単符郎全州佳偶」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 10） |
| 106. 『古今小説』巻十四「陳希夷四辞朝命」訳注 | 単 | 1998年01月 | 火鍋子（翠書房） 35号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「陳希夷四辞朝命」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 10） |
| 107. 中国名詞選訂補其一 | 単 | 1997年12月 | 武庫川国文50号 | 明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解上の誤りを訂正し、読解上有益な事項を補足したものである。韋応物の、「調笑」より欧陽炯の「定風波」まで。全（pp. 10） |
| 108. 『古今小説』巻十三「張道陵七試趙昇」訳注 | 単 | 1997年11月 | 火鍋子（翠書房） 34号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「張道陵七試趙昇」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 15） |
| 109. 徐福と日本—清代資料述評— | 単 | 1997年10月 | 東洋古典学研究 4集 | 日本について述べた中国清代の論説や詩文のうち、徐福に言及しているものを取り上げて、その内容を紹介し、必要に応じて論評を加え、もって当時の中国人の日本認識の一面を明らかにした。全（pp. 14） |
| 110. 『古今小説』巻十五「史弘肇竜虎君臣会」訳注 | 単 | 1997年09月 | 鳴尾説林 5号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「史弘肇竜虎君臣会」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 27） |
| 111. 『古今小説』巻十二「衆名姫春風弔柳七」訳注 | 単 | 1997年09月 | 火鍋子（翠書房） 33号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「衆名姫春風弔柳七」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 12） |
| 112. 『古今小説』巻十一「趙伯昇茶肆遇仁宗」訳注 | 単 | 1997年07月 | 火鍋子（翠書房） 32号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「趙伯昇茶肆遇仁宗」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 12） |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|--|-------------|---------------|--|---|
| 3 学術論文 | | | | |
| 113. 『古今小説』巻六「葛令公生遣弄珠児」訳注 | 単 | 1997年05月 | 火鍋子（翠書房） 31号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「葛令公生遣弄珠児」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 9） |
| 114. 徐福齋書説について | 単 | 1997年03月 | 藤原尚教授退官記念中国学論集（溪水社） | 欧陽脩あるいは司馬光の作といわれている「日本刀歌」の中で、秦の徐福が日本に渡るとき焚書以前の『書経』を携えていったということが歌われた。これを徐福齋書説と名づけることにし、この説が唱えられるに至った経緯はどうであったのか、またこの説はどのように語り継がれていったのかという問題を考察した。全（pp. 16） |
| 115. 徐福と日本—元明兩代資料述評— | 単 | 1997年03月 | 古田敬一教授頌寿記念中国学論集（汲古書院） | 日本について述べた中国元明兩代の論説や詩文のうち、徐福に言及しているものを取り上げて、その内容を紹介し、必要に応じて論評を加え、もって当時の中国人の日本認識の一面を明らかにした。全（pp. 18） |
| 116. 『古今小説』巻五「窮馬周遭際壳」嬢訳注 | 単 | 1997年03月 | 火鍋子（翠書房） 30号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「窮馬周遭際壳」嬢に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 9） |
| 117. 徐福に関する中国の伝説（下） | 単 | 1997年03月 | 武庫川国文 49号 | 中国の文献に見られる徐福に関する伝説のうち、小説類に属するものについて紹介し、必要に応じて論評を加えたものである。全（pp. 9） |
| 118. 徐福に関する中国の伝説（上） | 単 | 1996年12月 | 武庫川国文 48号 | 中国の文献に見られる徐福に関する伝説のうち、史書と地誌に属するものについて紹介し、必要に応じて論評を加えたものである。全（pp. 9） |
| 119. 『古今小説』巻三「新橋市韓五売春情」訳注 | 単 | 1996年09月 | 鳴尾説林 4号 | 中国明末の馮夢竜の短篇小説「新橋市韓五売春情」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 17） |
| 120. 『古今小説』巻十六「范巨卿鶏黍死生交」訳注 | 単 | 1995年09月 | 鳴尾説林第三号 | 我が国の上田秋成の『雨月物語』中の一編「菊花の約」の粉本とされた中国明末の短篇小説「范巨卿鶏黍死生交」（『古今小説』巻十六に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 13） |
| 121. 音楽と感化—戦国末秦漢儒家音楽思想についての一考察— | 単 | 1989年10月 | 哲学第41集 | |
| 122. 修養と養生—中国古代思想におけるその一体性— | 単 | 1988年2月 | 坂出祥伸編『中国古代養生思想の総合的研究』（平河出版社）所収 | |
| 123. 感化に関する思想をめぐって—『管子』内業等諸篇の思想史的な位置づけの試み— | 単 | 1988年10月 | 哲学第40集 | |
| 124. 王昌齡の詩「芙蓉楼送辛漸」の結句 | 単 | 1987年4月 | 中国研究集刊黄号 | |
| 125. 『管子』白心篇の思想および其の「心術」等三篇との関係 | 単 | 1984年6月 | 香川中国学会報第12号 | |
| 126. 『管子』四篇における気の思想の性格 | 単 | 1984年3月 | 高松工業高等専門学校研究紀要第19号 | |
| 127. 『管子』四篇における神と道 | 単 | 1984年10月 | 日本中国学会報第36集 | |
| 128. 『管子』の「心術」上下および「内業」の三篇について | 単 | 1983年3月 | 高松工業高等専門学校研究紀要第18号 | |
| 129. 『呂氏春秋』に見える名実論および正名論の性格 | 単 | 1982年3月 | 高松工業高等専門学校研究紀要第17号 | |
| 130. 『呂氏春秋』の養生説と政治思想 | 単 | 1982年10月 | 哲学第34集 | |
| 131. 名家的思惟の成立まで | 単 | 1981年2月 | 香川中国学会報第11号 | |
| その他 | | | | |
| 1. 学会ゲストスピーカー | | | | |
| | | | | |
| 2. 学会発表 | | | | |
| 1. 中国語における外国地名の話 | 単 | 2018年2月18日 | 武庫川女子大学言語文化研究所シンポジウム—ネーミングのコトバ学— | |
| 2. 矢土氏澹園を訪れた清国文人—王治本と阮丙炎— | 単 | 2017年8月27日 | 第39回書論研究会大会 | |
| 3. 王治本と三浦一竿の交友 | 単 | 2017年10月29日 | “浙江与東亜——新史料与新視点”国際學術研討会。於中国・浙江工商大学。 | |
| 4. 「漢文訓読」を考える—「漢文」・「漢字」・“羅文英読” | 共 | 2015年12月12日 | 武庫川女子大学言語文化研究所シンポジウム—言語文化の諸相：注釈、翻訳、翻訳語 | |
| 5. 同時代中国知識人の半植民地・植民地期朝鮮観 | 単 | 2013年8月24日 | 東アジア日本語教育・日本文化研究学会2013年度国際學術発表大会 | |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|-------------------------------------|---------|-------------|---|--|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 6. 晚清旅日華人对日本文化的引導 | 単 | 2011年6月22日 | 。於韓国・新羅大学校。 世界海外華人研究学会 (ISSCO) Hong Kong Conference (海外華人—文化、宗教与世界觀)。於香港中文大学 | |
| 7. 明治期日中文化交流一斑——高知における漢詩文を例として | 単 | 2011年10月21日 | 西安交通大学第一届“東北亜地区文化交流与和平發展”國際學術討論会における主題報告。於中国・西安交通大学。 | |
| 8. 中国人対日抛時期韓国社会状況的觀察与思考—以魏建功在韓體驗為例 | 単 | 2010年7月 | “韓国文学与社会变革”國際學術研討会。於中国・威海市。 | |
| 9. 日本漢学家松崎鶴雄在中国東北地区的学术、文藝交流 | 単 | 2009年9月 | “近代東亜的接触空間——以中国東北地域为中心 (1895—1945年)”國際學術研討会。中国吉林市・北華大学。 | |
| 10. 松崎鶴雄と中国の碩学たち | 単 | 2008年2月29日 | 第5回MKCR國際學術交流フォーラム。於中国・山東大学威海分校。 | |
| 11. 徐福東渡日本説与東亜三国的民族意識 | 単 | 2007年5月19日 | 2007山東大学韓国学院國際學術會議 (從閉關鎖国到達爾文主義世界——未来展望)。於中国・山東大学威海分校。 | |
| 12. 道真・忠臣の対渤海使贈答詩を読む | 単 | 2007年4月28日 | 韓国日本文化学会2007年度春季國際學術大会。於韓国・??大学校。 | |
| 13. 松崎鶴雄 (1867-1949) と中国 | 単 | 2007年12月1日 | 第4回MKCR國際學術交流フォーラム。於中国・西安交通大学。 | |
| 14. 渡唐留学僧積辨正の漢詩二首の解釈について | 単 | 2006年9月2日 | 和漢比較文学会・台湾大学共催特別研究発表会。於台湾・台湾大学。 | |
| 15. 日本人是如何理解徐福東渡説的 | 単 | 2006年6月4日 | 北京徐福國際學術討論会。於中国・北京國際会展酒店。 | |
| 16. 松下見林の太伯・徐福観 | 単 | 2006年4月29日 | 韓国日本文化学会2006年度春季國際學術大会。於韓国・祥明大学校。 | |
| 17. 三神山在日本説と韓国の文人 | 単 | 2005年9月12日 | 第2回MKCR國際學術交流フォーラム。於韓国・韓南大学校。 | |
| 18. 神戸発行『日華新報』の基礎的考察—明治大正期の日中兩國語新聞— | 単 | 2004年10月 | 武庫川女子大学関西文化研究センターセミナー第4回。於武庫川女子大学。 | |
| 19. 絶海中津と朱元璋の唱和詩をめぐって | 単 | 2001年12月 | 和漢比較文学会。於中国・中山大学。 | 日本の僧絶海中津は入明後、1376年に太祖朱元璋に謁見した。その際、太祖は我が国の「熊野古祠」について顧問し、詩を賦すよう求めた。かくして誕生した絶海と明太祖による詩の唱和は、日中兩國それぞれにおいて行われてきた徐福伝説に偶然めぐってきた一つの結節点であった。その結節点の前後及び周囲に広がる日中それぞれの特徴的な部分に照明を当てるべく、史料を収集し検討した。 |
| 20. 徐福東渡日本伝説与韓国文人 | 単 | 2000年08月26日 | 韓国中国学会第20次中国学國際學術大会。於韓国・建国大学校。 | 徐福東渡日本伝説の韓国における種々相を追跡し、この伝説に対する歴代の韓国の文人の見解を日本文人の見解と比較しつつ論述した。 |
| 21. 徐福渡来説雜考—主として日・朝の資料に拠り— | 単 | 1998年05月 | 阪神中哲談話会。於茨木市民会館。 | 徐福渡来説について言及した日本と朝鮮の歴代の文献を紹介し、それらの文献によって知ることのできる日本と朝鮮の歴代の文人たちの思想について述べた。 |
| 22. 『管子』の「白心」篇について | 単 | 1983年2月5日 | 香川中国学会 第43回例会。於香川大学。 | |
| 23. 『楚辞』遠遊篇について | 単 | 1983年10月1日 | 日本中国学会昭和58年度大会研究発表。於広 | |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|--|-------------|-----------------|--|---|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 24. 『管子』の「心術」上下および「 内業」篇について | 単 | 1982年11月6 日 | 島大学。 広島哲学会 第33回学 術研究発表大会。於広 島大学。 | |
| 25. 刑名参験術について | 単 | 1981年6月7 日 | 中国四国地区中国学会 第27回大会。於愛媛 大学。 | |
| 3. 総説 | | | | |
| 4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績 | | | | |
| 5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等 | | | | |
| 1. (主旨発言) 王治本在日本越後・ 佐渡地区的足跡与詩文交流 | 単 | 2018年3月18 日 | 世界詩歌日「東方美谷 詩漫賞城」詩歌節(201 8)系列活動 詩歌國際 高端論壇 議題二「詩 歌傳承与漢字文化圈」 | 場所：上海奉賢図書館 |
| 2. (講演) 晚清文人王治本の足跡及 其在日中漢詩交流領域的貢獻 | 単 | 2018年3月16 日 | 世界詩歌日 言子講壇 詩歌系列講座 | 場所：復旦大学光華楼西主楼1615室、進行係：陳広 宏教授・黄仁生教授、主催者：上海奉賢「東方美谷 芸術祭」組織委員会 |
| 3. (コメント) 武庫川女子大学言語 文化研究所シンポジウム——ネー ミングのコトバ学—— | 共 | 2017年2月18 日 | 武庫川女子大学言語文 化研究所 | 第2部：シンポジウム(討論)におけるコメント |
| 4. 井上孝榮氏論文「矢土家文書にみ る巖谷一六の交友圈」に対する短 評 | 単 | 2017年12月2 4日 | 『書論』第43号合評会 並びに研究報告会 | |
| 5. (講演) 『一六遺稿』初探——巖 谷一六 漢詩文作品の探索・収集 | 単 | 2016年12月2 3日 | 『書論』第42号合評会 並びに研究報告会 | |
| 6. (講演) 小山松溪《西湖折柳》初 探 | 単 | 2015年3月14 日 | “異域之眼——日本人 的漢文游記研究”學術 研討会。於中国・杭州 浙江工商大学 | |
| 7. (講演) 明治前期神戸の華僑華人 ——漢詩文集・新聞・遊記等を主 な資料として | 単 | 2011年4月23 日 | 神戸華僑華人研究会第2 1回記念講演。於神戸市 中央区中華会館。 | |
| 8. (講演) 明治期滞日清国人王治本 と地方の漢詩人たち | 単 | 2011年11月4 日 | 東アジア日本語教育・ 日本文化研究学会2011 年度國際學術大会にお ける特別後援。於フラン ス・パリ國際大学都 市。 | |
| 9. (翻訳) 「壬辰倭乱」に関する中 韓学会の見解について | 単 | 2008年11月1 0日 | 関西文化研究叢書9「東 アジアにおける文化交 流の諸相」 | 劉宝全「中韓両国学界關於“壬辰倭乱”研究的觀點 評析」（関西文化研究叢書9「東アジアにおける文化 交流の諸相」）の翻訳 |
| 10. (翻訳) 梁啓超と韓国近代啓蒙思 想 | 単 | 2008年11月1 0日 | 関西文化研究叢書9「東 アジアにおける文化交 流の諸相」 | 牛林杰「梁啓超与韓国近代啓蒙思想」（関西文化研 究叢書9「東アジアにおける文化交流の諸相」）の翻 訳 |
| 11. (講演) 徐福渡来説と東アジアの 民族意識 | 単 | 2007年3月25 日 | 新宮徐福協会主催講演 会。於新宮商工会議所 。 | |
| 12. (翻訳) 逆流と暗流(下) | 共 | 2004年5月 | 晃洋書房 | |
| 13. (翻訳) 逆流と暗流(上) | 共 | 2003年11月 | 晃洋書房 | |
| 14. (講演) 西島函南と孫文・神戸華 僑 | 単 | 2002年6月 | 神戸華僑華人研究会・ 孫文研究会合同 記念 講演。於神戸・中華会 館。 | |
| 15. (あとがき) 日本文訳本訳者後言 | 単 | 2000年9月 | 『韋旭昇文集』（中国 ・中央編訳出版社、200 0年9月）第3巻所収。p. 364-368 | |
| 16. (翻訳) 南京陥落・平和への祈り (下) | 共 | 2000年5月 | 晃洋書房 | |
| 17. (翻訳) 南京陥落・平和への祈り (上) | 共 | 2000年2月 | 晃洋書房 | |
| 18. (翻訳) 中国古典文学と朝鮮 | 共 | 1999年3月 | 研文出版 | |
| 19. (翻訳) 中国古典読法通論 | 共 | 1992年8月 | 朋友書店 | |
| 20. (翻訳) ある「右派」作家の回想 | 単 | 1992年1月 | | 学生社 |
| 6. 研究費の取得状況 | | | | |

学会及び社会における活動等

| 年月日 | 事項 |
|-----|-------------------|
| | 和漢比較文学会 日本中国学会 |